

人 ピープル



「税に関する作文」で国税局長官賞
 渋川 ナタリさん（15） 龍蔵寺町

税金は 社会の貯金 だと思っ

関東信越国税局管内の中学・高校生が対象の「税に関する作文・標語」コンクール・高校生作文の部で最高

賞の長官賞に。先月十五日、商工会議所で行われた表彰式で賞状を受けた。「多くの話題を入れたので、順番

受賞作品の題は、「一枚の納付書から」。学校で夏休みの課題として、このコンクールの作文を書くよう言われた日、家に帰ると、ちょうど、市から国民健康保険税の納税通知書が届いていた。

「わたし自身は納税することもなく、今は家族もほとんど病気をしないので、税額の高さにちよっと割り切れなさを感じました。それを祖母に話すと、古い医療費の明細書を見せながら、祖父の姉がわたしの生まれたころ大病をしたけれど、国保の

現在高校一年生。部活では音楽部でバイオリンを弾いている。ピアノも小さいころから習っていて、将来、音楽関係の仕事に就くことを目標に勉強中だ。

「中学の授業で老人施設を見学した時、音楽療法によってお年寄りが若々しく、元気になる様子が分かりました。演奏家になることを目指すだけではなく、こうした分野にも興味があります」

将来の希望を語る笑顔の中に、澄んだ瞳がきらりと光った。

十一月十五日に天神小で、創立二十周年を記念する手作りの祝賀行事が行われました。

まず、体育館のステージに設置されたスクリーンに春夏秋冬の学校生活が映し出されます。それに合わせて「たんぽぽ」「たなばたさま」「もみじ」を学年ごとに合唱。さらに、北原白秋の詩「お祭り」を全校児童が力強く群読する場面も。最後は、「思

学校じゅんぽん
 創立20周年を
 歌と映像で祝う

天神小学校



いのアルバム」の替え歌に挑戦会場いっぱい気持ちよい歌声が響きわたり、出席者から温かい拍手が送られました。

Pick up ぴっくあっぷ

子どもたちの力作展示

十一月十九日から二十四日まで、第三十八回子ども会画展が臨江閣で行われました。

子ども会の会員が創作した書道と絵画約四千七百点を一堂に展示。小中学生の力作がずらりと会場を埋め尽くし、出品者も自分の作品を探すのに苦労する



ほど、まさに圧巻です。元気あふれる習字、感性豊かな絵から、子どもたちのたくましさを感じられ、これからの成長がますます楽しみです。